

雲龍庵の漆芸

AND THE LACQUER WORK OF UNRYUAN

春日大社 国宝殿 秋季特別展
KASUGATAISHA MUSEUM, AUTUMN SPECIAL EXHIBITION

世界が認めた超絶技巧

THE NATIONAL TREASURES OF KASUGA LACQUER
春日漆の国宝と

輪島から世界へ

令和6年
8月11日(日)
— 12月13日(金)

[開館時間] 10時～17時
(16時30分受付終了)

休館日 令和6年10月15日(火)

秋時絵聖卵 個人蔵 撮影:渡邊修 画像提供:金沢21世紀美術館
蛸蛤時絵伽羅箱(部分) 個人蔵 撮影:森原英文
箱河豚根付 波濤時絵小硯箱(部分)、百花百虫時絵香箱(部分) 個人蔵 画像提供:© KITAMURA Studio
国宝 本宮御料古神宝類 時絵筆(部分) 春日大社所蔵

春日大社 国宝殿

Kasugataisha Museum

拝観料

大人 ¥500 (20名以上400円)
高校・大学生 ¥300
中学生・小学生 ¥200

アクセス

JR・近鉄奈良駅より
春日大社本殿前行きバス7～10分、下車スグ
〒630-8212 奈良市春日野町160
Tel. 0742-22-7788 / Fax. 0742-27-2114

春日漆の国宝と雲龍庵の漆芸

世界が認めた超絶技巧

本展は、優雅で古風な王朝美術の代表作である春日の国宝漆芸品と、古典研究に基づき新たな創造を果たし、現代の漆芸として世界的に高く評価されている雲龍庵 北村辰夫の作品を同時に展示する初の試みです。この企画は、雲龍庵作品のコレクターとの出会いから始まり、コレクションの契機となった柴田是真などの近世・近代漆芸の名品も展示いたします。さらに、雲龍庵 北村辰夫が初めて試みた華やかでありながら黙示的なインスタレーションや、その制作を支える若手たちが所属する希龍舎の作品も併せて公開いたします。

時代を超えた漆の美をご堪能ください。



重要文化財 秋草蒔絵手箱 鎌倉時代 後期展示



国宝 金地螺鈿毛抜形太刀 平安時代 後期展示

国宝 毛抜形太刀 平安時代

重要文化財 秋草蒔絵手箱、国宝 金地螺鈿毛抜形太刀、国宝 毛抜形太刀 春日大社所蔵

第一章 春日漆の国宝

春日大社には平安時代にまで遡る漆工の名品が数多く伝存しています。これらは春日大社の神様へ捧げられた楽器・武器武具・調度品など、いずれも最高の技術と贅を尽くして誂えられた一級品です。特に蒔絵や螺鈿が施されたこれらの品々からは、往古の職人たちの確かな技術と洗練されたデザインセンスを見て取ることができます。

第二章 雲龍庵の漆芸

雲龍庵 北村辰夫は、輪島出身の漆工家です。また、その制作に加わる若手たちは、希龍舎で学びながら自作に取り組んでいます。雲龍庵の作品は、過去の名品から学び、蒔絵や螺鈿を施す作品の緻密さで観る者を驚かせるだけでなく、様々な創意工夫が凝縮されています。朱金地や青貝の表現は、見る角度によって色に変化し、文様が見え隠れするなど、接するたびに新たな魅力を発見できます。

また、雲龍庵作品は国内外の多くの美術館に収蔵され、各地の美術館での展示や個展開催のたびに高い人気を得ています。今年1月1日に発生した能登半島地震では大きな被害を受けましたが、金沢に避難してから休むことなく制作を続けています。



蓮蒔絵聖卵



波濤蒔絵小硯箱



蜻蛉蒔絵伽羅箱